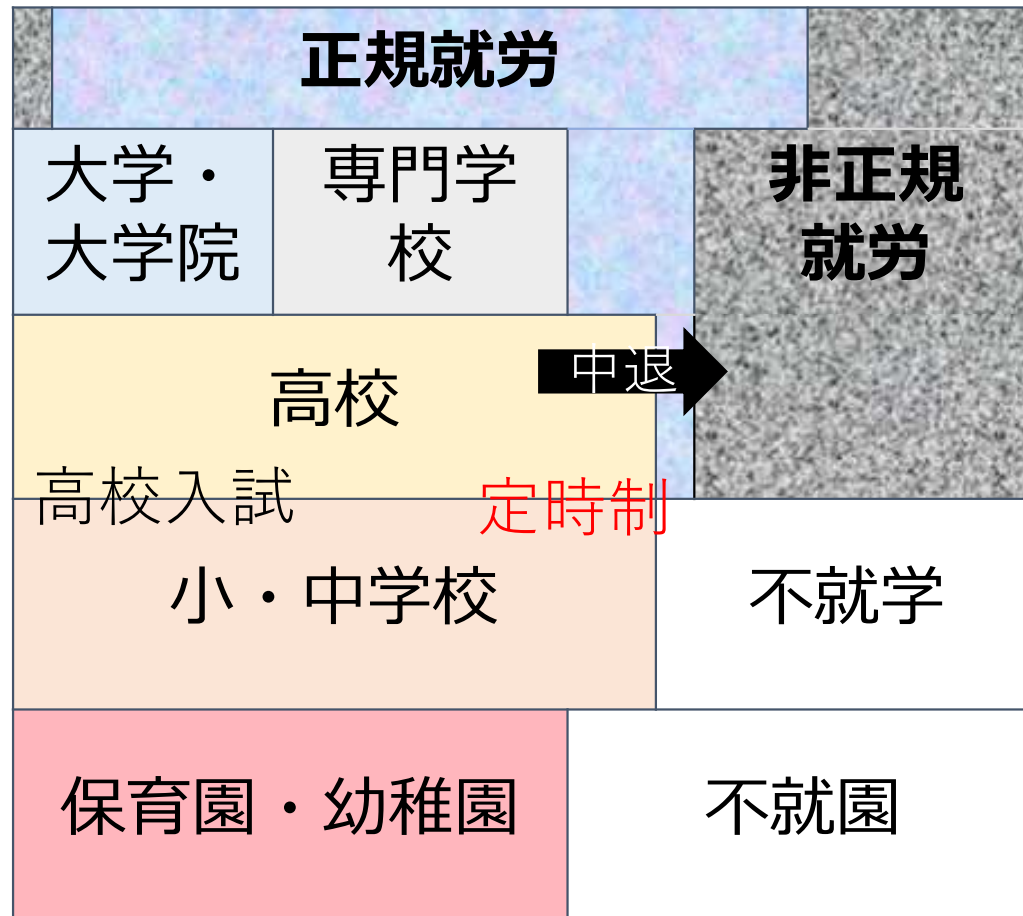


2017年10月1日（日） 13:30～15:30  
文化庁日本語教育大会（大阪大会）  
生活者としての外国人のための日本語教育  
テーマ別実践報告会 第2分科会

# 子どもに日本語を教える人の 専門性について考えよう

就学前から青年期にわたる  
対象別の日本語学習支援を通して

# 多文化の背景をもつ子ども達と教育



# 高校進学の壁

平成28年度学校基本調査より

	全体	外国人生徒
中学校生徒数 (A)	3,406,029	21,532
高校生徒数 (B)	3,309,342	13,893
平均進学率 (B/A)	97.2%	64.5%

	全日制高校 (60 地域)				定時制高校 (57 地域)			
	外国人生徒		中国帰国生徒等		外国人生徒		中国帰国生徒等	
	入試 特別措置	特別 入学枠	入試 特別措置	特別 入学枠	入試 特別措置	特別 入学枠	入試 特別措置	特別 入学枠
○	30	18	30	15	29	8	29	43
△	12	7	15	12	13	5	14	6
×	18	35	15	33	15	44	14	8

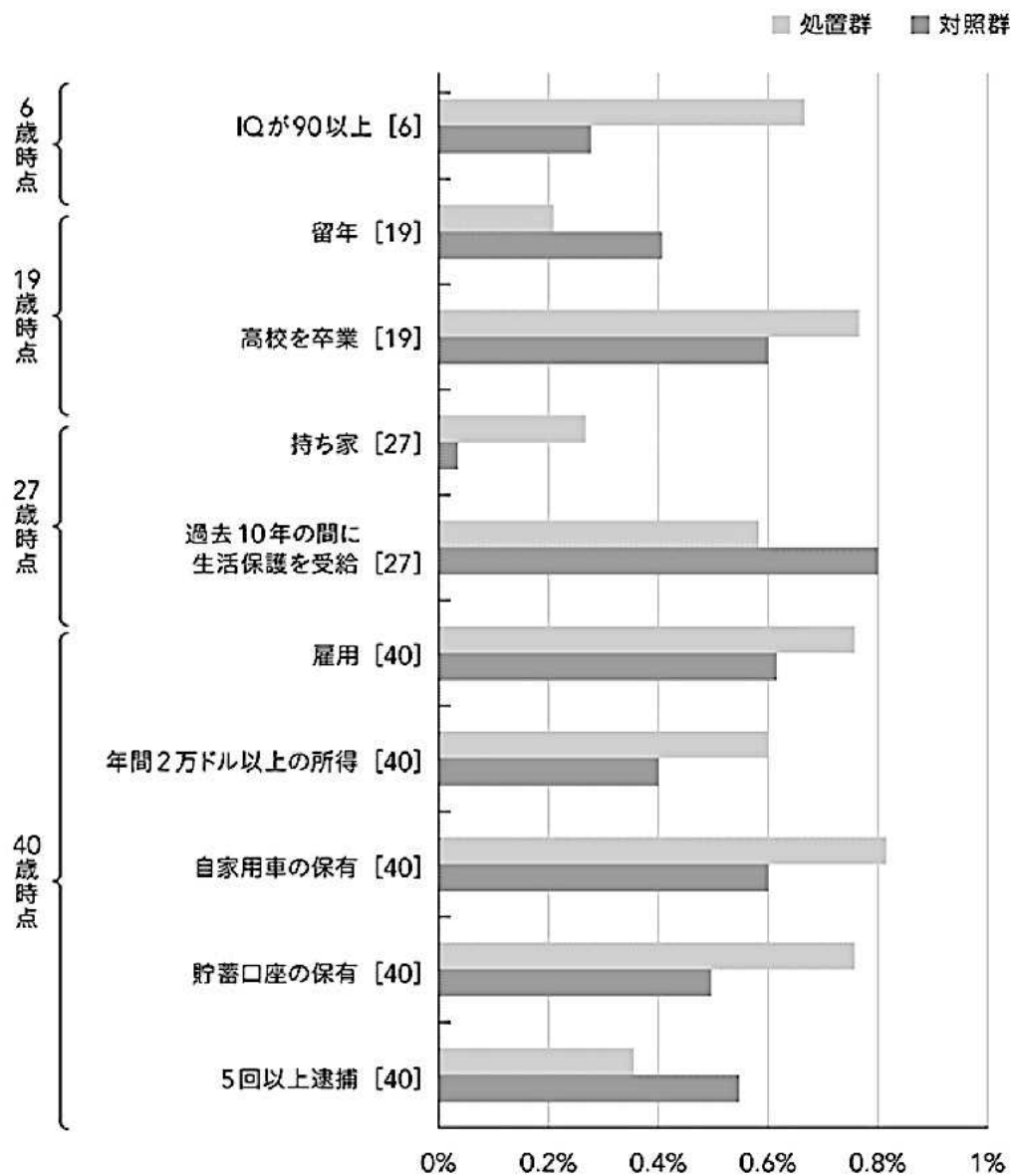
外国人生徒・中国帰国生徒等の高校入試を応援する会(2017)

○：措置や枠がある  
 ×：措置や枠がない  
 △：その他

# 幼児教育の重要性

中室牧子 (2015)  
『「学力」の経済学』

図16 ベリー幼稚園プログラムの効果



# 日本語教育人材の養成・研修の検討範囲のイメージ

①児童生徒等WG ②活動分野別WG ※点線は優先順位として後にする対象

参考資料1  
日本語小委 日本語教育人材の  
養成 研修WG第3回 (129,8,8)

国内							海外
活動分野 日本語教育人材	生活者としての外国人						初等中等高等教育及び成人に対する日本語教育、 日系人等に対する継承語教育
	生活者としての外国人	留学生 ※日本語教育機関	児童生徒等	就労準備 研修生	技能 実習生	難民等	
日本語指導者 【中堅】	① ②						
日本語指導者 【初任】 活動分野別)	(1) (2) (3)	(1) ② ③	① ② ③ ※日本語 指導支援員	(1) ② ③	(1) ② ③	(1) ② ③	(1) ② ③
日本語指導者 【養成段階】	合同WGによる検討 (1)資質・能力 (2)教育内容 (3)モデルカリキュラム 案)						
日本語教育 コーディネーター	(1) ② ③ ※地域日本語教育 コーディネーター	(1) ② ③ ※主任教員					(1) ② ③
日本語学習 支援者	① ②						

# OECD グローバル・コンピテンシー

- 2030年までに子ども達が学ぶべきこと
- リテラシー⇒キー・コンピテンシー⇒グローバル・コンピテンシー



<http://www.oecd.org/pisa/aboutpisa/Global-competency-for-an-inclusive-world.pdf>

# グローバル・コンピテンスの構成要素

## 技能

- 分析的・批判的思考
- 他者を尊重しながら、適切に、効果的に働きかける能力
- 共感
- 柔軟性

## 知識・理解

- グローバルな課題に関する知識と理解
- 異文化間の知識と理解

## 態度

- 異なる文化をもつ人への寛容さ
- 異なる文化の尊重
- グローバル・マインド
- 責任

## 価値観

人間の尊厳・文化の尊厳

グローバル・コンピテンス

# 養成段階で求められる資質・能力

知識	技能	態度
1. 言語文化に関する知識 2. 日本語の教授に関する知識 3. 日本語教育の背景をなす事項に関する知識	1. 教育実践のための技能 2. 学習者の学ぶ力を促進する技能 3. 社会とつながる力を育てる技能	1. 言語教育者としての態度 2. 学習者に対する態度 3. 社会に対する態度



# 初任段階（活動分野：児童生徒等）で求められる資質・能力

知識	技能	態度
<ol style="list-style-type: none"><li>1. 児童生徒の指導の前提となる知識</li><li>2. 日本語の教授に関する知識</li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 教育実践のための技能</li><li>2. 成長する日本語指導者になるための技能</li><li>3. 社会とつながる力を育てる技能</li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 言語教育者としての態度</li><li>2. 学習者に対する態度</li><li>3. 文化的多様性・社会性に対する態度</li></ol>

# 初任段階（活動分野：児童生徒等）で求められる知識

## 1. 児童生徒の指導の前提となる知識

- （1）日本の教育制度の理解を前提とした上で、各学校の教育方針を理解している
- （2）学校における児童生徒等の受入体勢や支援の仕組みに関する知識を持っている
- （3）児童生徒等の社会化のプロセスについての知識を有し、キャリア支援の視点から将来を想定して日本語指導が果たす役割を理解している。
- （4）生育環境の変化への対応と、それが成長発達に及ぼす影響に関する知識を持っている。

初任段階（活動分野：児童生徒等）で求められる知識

## 2. 日本語の教授に関する知識

（5）日本語指導のコース設計に関する知識を持っている

# 初任段階（活動分野：児童生徒等）で求められる技能

## 1. 教育実践のための技能

- （1）児童生徒等の年齢・能力・文化的背景に応じた適切な日本語の学習活動を設計することができる。
- （2）学校が作成した個別の指導計画に即して、教員指導の下に実施することができる。
- （3）児童生徒等の日本語を含む言語の能力を把握・評価することができる。
- （4）児童生徒等の生活全般に位置づけて教材教具を作成し、発達段階に応じた効果的な指導を実践することができる。
- （5）教科学習等と日本語学習との統合的な学習活動の支援を行うことができる。

# 初任段階（活動分野：児童生徒等）で求められる技能

## 2. 成長する日本語指導者になるための技能

（6）学校が作成した指導計画に基づいた実践を振り返り、改善のための検討ができる。

## 3. 社会とつながる力を育てる技能

（7）児童生徒等を取り巻く社会の中に自身の役割を位置付け、指導・支援の内容・方法を決定・実施することができる。

（8）学校や地域、家庭など多様な角度から児童生徒等の日本語の使用や習得状況を捉え、教室外での学びに関連付けた指導を実践することができる。

# 初任段階（活動分野：児童生徒等）で求められる態度

## 1. 言語教育者としての態度

- （1）キャリア支援の視点から、児童生徒等の日本語学習支援の在り方を考え、実践しようとする
- （2）日本語指導の現場だけでなく、学校や地域、家庭など多様な角度から児童生徒等の日本語の使用や習得状況を捉えようとする
- （3）担当教員、学校関係者や保護者、地域関係者と円滑に協働し、効果的に日本語学習支援を行おうとする

# 初任段階（活動分野：児童生徒等）で求められる態度

## 2. 学習者に対する態度

（4）複雑な事情を抱える多文化家族の背景を理解し、児童生徒等に寄り添おうとする

## 3. 文化的多様性・社会性に対する態度

（5）指導者は児童生徒等やその保護者にとって権威性を感じさせる存在であることを常に自覚し自身のものの見方を問い直そうとしている

# 子どもに対する日本語指導者に求められる 資質・能力

## 課題発見・解決能力

